

プロジェクトマネジメント プロフェッショナルスクール

2019年度 科目一覧表

産業技術大学院大学

情報アーキテクチャ専攻

科目一覧

■ プロジェクトマネジメント入門P3
■ PMP受験対策講座P4
■ イノベーションのためのアジャイルプロジェクトマネジメントの基礎P5
■ リアルタイムPMシミュレータP6
■ プロジェクト・リスク・マネジメントP7
■ PMBOK®第6版徹底読み解きP8
■ システム開発プロジェクト管理【プロジェクト管理特論2】P9
■ アジャイル開発手法特論【アジャイル開発特論】P10
■ 受注プロジェクトの管理P11
■ プロジェクト・マネジャー実践力強化P12
■ プロジェクトを成功させるPMO活用法P13
■ 中堅プロジェクト・マネジャーのパワーアップP14
■ 事例研究P15
■ プロジェクトマネジメントのツールと技法（PM特論3）P16
■ パーソナルスキル2/コミュニケーション・ネゴシエーションP17
■ プロジェクト・マネジャーのキャリアデザインP18
■ パーソナルスキル1/コーチング&メンタリングP19
■ プログラムマネジメント実践演習P20
■ 情報処理技術者PM試験対策コースP21
■ IT経営プロジェクトP22

プロジェクトマネジメント入門

プロジェクトの立ち上げから、終結までのプロセスに沿って、プロジェクトマネジメントの基礎を学びます。さらに、プロジェクト事例を使っての演習問題により、実際のプロジェクトに即した中で、理解を深め基本事項の定着を図っていきます。

回数	内容
第1日	プロジェクトマネジメントについて：プロジェクトとは何か、プロジェクトマネジメント、プロジェクトマネジメントの歴史について学ぶ。 プロジェクトの立ち上げ：プロジェクト憲章(企画)の作成、ステークホルダーの特定について学ぶ。 演習：プロジェクト事例から、ステークホルダーの特定と分析を行う。
	プロジェクトの計画：①スコープ定義、②WBS：ワーク・ブレークダウン・ストラクチャーについて学ぶ。 演習：プロジェクト事例からWBSを作成する。 プロジェクトの計画：③スケジュール作成(所要期間見積り、作業順序の設定、クリティカルパス)について学ぶ。 演習：プロジェクト事例からスケジュールを作成する。 プロジェクトの計画：④資源の割り当て、⑤コスト計画、⑥調達について学ぶ。
	プロジェクトの計画：⑦リスクマネジメント、⑧品質計画について学ぶ。 演習：プロジェクト事例からリスクを識別し対応を検討する。 プロジェクトの計画：⑨コミュニケーション、⑩ステークホルダーマネジメントについて学ぶ。演習：プロジェクト事例からプロジェクト計画書を作成する。
第2日	プロジェクトの実行：プロジェクトチームの運営、進捗管理(EVM：アーンドバリューマネジメント)、変更管理の方法について学ぶ。 演習：プロジェクト事例から変更要求への対応を検討する。 プロジェクトの実行：プロジェクト実行中の問題管理、課題管理について学ぶ。 演習：プロジェクト事例から課題発生への対応を検討する。 プロジェクトの終結：プロジェクトの終結の方法について学ぶ。

開講日

2019/8/17(土),8/18(日)

開始～終了時

10:00～18:00 (各7時間)

合計学習時間(PDU申請可)

14時間 リーダシップ:3
テクニカル:8
ストラテジ:3

費用(受講者選考手数料除く)

17,920円

受講をお勧めする人

プロジェクトマネジメントの基礎を実務の流れに沿って分かりやすく解説します。
始めてプロジェクトマネジメントを学ぶ人がプロジェクトマネジメントの基本を学ぶことができます。

講師

三好 きよみ

PMP受験対策講座

本講義はプロジェクトマネジメントの知識を、実務の流れに沿って体系的に学ぶことで、PMP試験に合格することを目的としています。ただの試験対策や準備だけでなく、PMBOK®ガイドの内容を実務で活用できる能力を身に付けることを目的としています。

回数	内容
第1回	PMP試験概要：プロジェクトマネジメントの世界、日本の標準としてどのようなものがあるか、また世界のデファクト標準となっているPMIのPMBOK®ガイドやPMP試験について解説する。
	プロジェクトとはなにかその定義を明確にして、さらに企業活動におけるプロジェクトの位置づけやプロジェクトマネジャーの役割について解説する。
	プロジェクトの立上げ：プロジェクトがどのように選定され、立上の際、どのようなプロジェクトマネジメントプロセスが必要かを学ぶ。
	プロジェクトマネジメント計画とスコープ定義：プロジェクトマネジメント計画書の構成や記載項目を理解する。
第3回	WBSの作成と品質計画：まず、WBSについてその特徴や作成のルールなどについて学んだのち、プロジェクトスコープをブレイクダウンしてWBSを作成する方法について理解する。
	リスク管理：リスクの特定、分析、対応策といったマネジメントの基本プロセスを学び、プロジェクト計画策定期のリスクマネジメントの目的や重要性を理解する。
	アクティビティの定義とスケジュール管理：WBSのワークパッケージをアクティビティに展開し、依存関係や作業期間を考慮したアクティビティの計画を作成する。
	資源計画とコスト見積り：リスク対応も含んで整理されたアクティビティに対して要員をアサインする。
第3回	プロジェクト実行とチームマネジメント進捗管理：作成したプロジェクト計画に基づいてプロジェクトを実施する方法や、チームマネジメントについて学ぶ。
	プロジェクトの実績測定とコントロール：プロジェクトの進捗情報を把握するための実績情報の収集方法やその分析方法について学ぶ。
	進ちょく・変更管理：プロジェクト実施中の進捗管理の方法や、変更管理プロセスについて学ぶ。
	作業結果管理とプロジェクトの終結：プロジェクトマネジャーがプロジェクトの終了時に行う作業として、プロジェクトの移行計画書の作成や、完了基準の策定を学ぶ。
第3回	プロフェッショナルとしての責任：PMI倫理・職務規定をもとに、PMPやPMI関係者に求められるプロジェクトマネジャーとしての高い行動規範について理解する。

開講日

2019/8/24,8/31,9/8 (3日)

開始～終了時

10:00～18:00 (各7時間)

合計学習時間(PDU申請可)

21時間 リーダシップ:6
テクニカル:9
ストラテジ:6

費用(受講者選考手数料除く)

26,880円

受講をお勧めする人

PMP試験を考えており、受験対策として学習したい人。プロジェクトマネジメントの基礎やPMBOK®入門と合わせて受験資格の35時間の学習を得られます。PMP取得者にはPDU取得にもなります。

講師

酒森 潔

イノベーションのための アジャイルプロジェクトマネジメントの基礎

熾烈な競争に勝ち残るために、企業はイノベーションが求められ、イノベーションを実現する多くのプロジェクトが立ち上がりつつあります。イノベーションとは、新しい顧客価値を生み出すための革新の事業活動で、スピードと変化に適応することが求められる。イノベーションを成功に導くプロジェクトマネジメント手法を学習します。

時限	内容
第2限	講義概要の説明と自己紹介：講義の目的と学習内容を解説し、講義内容に反映するため、受講者の要望事項を聴く。 イノベーション：イノベーションとは、イノベーションの必要性、イノベーション創出プロジェクトを理解する。 アジャイルの価値観と原則：アジャイルの出現の背景
第3限	アジャイルの価値観と原則：アジャイルマニフェストの価値観と原則を理解する。 スクラム手法を理解する。 アジャイルプロジェクトマネジメント：アジャイルプロジェクトマネジメントとは。
第4限	アジャイルプロジェクトマネジメント：アジャイルプロセス、ビジョニング、ユーザーストリー、要求開発、リリース計画、反復プロセス、アジャイル事例を理解する。
第5限	アジャイル・ステークホルダーとその役割：アジャイルチーム、プロダクトオーナー、アジャイルプロジェクトマネジャー、自己組織的チーム、 アジャイル導入課題と対応策：アジャイル導入の阻害要因、導入方法

開講日

2019/9/15 (日)

開始～終了時

10:40～18:00 (2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:1.5
テクニカル:4
ストラテジ:0.5

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクトマネジメントの知識があり、IT分野や製品開発における実際に活用できるアジャイルプロジェクト管理技術を習得しようと考えている人、およびその様な部下を持つ管理者。

講師

竹腰 重徳

リアルタイムPMシミュレータ

本講義はリアルタイムにプロジェクトを実践できるソフトウェアツールを使って、ITプロジェクトの計画から実践までをゲーム感覚で体験します。ツールの実践を通じて、計画に基づくプロジェクト実践力や、判断力の養成をめざします。

回数	内容
第2限	本講義のガイダンスと簡単なPMの講義：本講義のガイダンスおよび、プロジェクトの基礎知識やクリティカルパスに関する知識の講義をおこなう。
第3限	シミュレータプロジェクトについての説明と計画作成：本講義で実施するプロジェクトシミュレータについてその目的や制約などについて説明し、あわせてステークホルダーマネジメントやリスクマネジメントの方法についても解説する。
第4限	シミュレータプロジェクト準備と前半の実行：最終的なシミュレータの設定を確認し、シミュレータの前半部分を実施する。プロジェクト実施に必要になるPMとしての判断対応を実践する。またEVMによるプロジェクト管理にもチャレンジする。
第5限	シミュレータプロジェクト後半の実行と反省会：グループでシミュレータの前半部分の反省に基づき、後半部分の計画の見直しや戦略の策定をおこなったのち、後半部分を実施する。終了後実行結果について結果を分析する。

開講日

2019/9/16(月・祝)

開始～終了時

10:40～18:00(2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:2
テクニカル:2
ストラテジ:2

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクトマネジメントをゲーム感覚で短時間に体験したい人。
グローバルなプロジェクトマネージャの判断や行動を理解し実践したい人。

講師

酒森 潔

プロジェクト・リスク・マネジメント

未来有る貴方の明日を創るため、リスク・マネジメントを役立てましょう。リスクは迷惑な厄介者だけではありません、仕事や生活の将来を明るくする好機でもあるのです。これらを予測し、とらえ、管理できるものです。この講座では豊富な実例を使用し、受講者自らが対応を考えるワークを通じ、実務へ応用できる手法を実感してもらいます。

時限	内容
第2限	<p>マネジメント概要と計画 ここでは、まず本来のリスクとは何かを考えていく。日本社会ではネガティブリスクの比率が過大に取り扱われ、ポジティブリスクに対する取り組みが弱く過小になり勝ちである。これを強化し、プロジェクトにも成果物にもより多く効果を取り入れるべきことを学ぶ。</p>
第3限	<p>リスク特定 プロジェクトで発生確率の高いリスクを漏れなくリストアップすることはそう簡単なことではない。これを漏れ無く準備できていることが、プロジェクトの成否を握る重要な項目の1つである。効率的なリストアップ方法を演習で学ぶ。</p>
第4限	<p>定性的リスク分析・定量的リスク分析 リスクは未来に発生する出来事で有るだけに、対応に優先順位を付けて対応する。ここではリスク優先判定に適切なツールを使用し、各リスクを定性的分析と数値化をする定量分析を行うことで、対応計画作成が比較的容易に行える手法を学ぶ。</p>
第5限	<p>リスク対応計画とリスクのコントロール リスクが将来プロジェクト内で実際に発生した場合、どのような対応をとるか、予め、対応方法をリスク毎に予め決定して置く、ここではリスク毎に取り入れるべき対応方法の選別手法を人間心理や行動理論に従い実例を取り上げ学ぶ。</p>

開講日

2019/9/22 (日)

開始～終了時

10:40～18:00 (2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:0
テクニカル:6
ストラテジ:0

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクト・マネジメントの基礎知識を持ち、プロジェクト業務従事者や管理者など、日常業務上でリスク対応スキルを実務上必要としている人及びPMP受験希望者。

講師

竹政 一夫

PMBOK®第6版徹底読み解き

プロジェクトマネジメントのデファクトスタンダードである「プロジェクトマネジメント知識体系ガイド(PMBOK®ガイド)第6版」の概要を解説します。実際のプロジェクトの現場で活用されているプロジェクトマネジメントの知識体系としてプロセス、ツール、技法を理解できます。

回	内容
第1日	PMBOK®ガイド 第1章～第3章 ・PMBOK®ガイド 概要解説 ・プロジェクトとは何か、プロジェクトマネジメントとは何かを学ぶ。 ・プロジェクトを取り巻く環境の解説。
	PMBOK®ガイド 第4章 プロジェクト統合マネジメントを学ぶ。
	PMBOK®ガイド 第5章 プロジェクト・スコープ・マネジメントを学ぶ。
	PMBOK®ガイド 第6章 プロジェクト・タイム・マネジメントを学ぶ。
第2日	PMBOK®ガイド 第7章 プロジェクト・コスト・マネジメントを学ぶ。
	PMBOK®ガイド 第8章～9章 プロジェクト品質マネジメント、プロジェクト人的資源マネジメントを学ぶ。
	PMBOK®ガイド 第10章～11章 プロジェクトコミュニケーションマネジメント、プロジェクト・リスク真似自慢とを学ぶ。
	PMBOK®ガイド 第12章～13章 プロジェクト調達マネジメント、プロジェクト・ステークホルダーマネジメントを学ぶ。

開講日

2019/9/28(土),9/29(日)

開始～終了時

10:00～18:00 (各7時間)

合計学習時間(PDU申請可)

14時間 リーダシップ:3
テクニカル:8
ストラテジ:3

費用(受講者選考手数料除く)

17,920円

受講をお勧めする人

PMBOK®ガイドをじっくり読んでみたい方向けコース。
プロジェクト管理について実務経験はあるが体系立てて知識を整理したことが無い人。PMP試験にチャレンジする人の学習の整理したい人。

講師

石井 浩靖

システム開発プロジェクト管理

正規講義名【プロジェクト管理特論2】

本講義は体系化された情報システム構築プロジェクト管理の知識を網羅的に整理しながら、実務事例の紹介を多く取り入れて具体的なプロジェクト計画や管理の方法を学ぶことができます。15回の講義のうち7回はWebによるオンデマンド受講ですので忙しい方も効率的に受講できます。

回数	内容
第1回	講義概要の説明と受講者のスキル診断：講義の目的と学習内容を解説し、学生が講義選択の判断ができるようにする。
第2回	プロジェクトの立上の講義：日本における情報システム開発プロジェクトの特徴や、プロジェクトが生まれる仕組みについて解説する。（オンデマンド）
第3回	プロジェクトの立上のまとめと演習：
第4回	スコープ定義とスケジュール作成の講義：プロジェクトスコープの定義を行いWBSとプロジェクトスケジュール作成するまでを解説する。（オンデマンド）
第5回	スコープ定義とスケジュール作成のまとめと演習：
第6回	要員計画とコスト計画の講義：要員の投入計画を調整しながらスケジュールを確定しコスト計画を作成するプロセスを講義する。（オンデマンド）
第7回	要員計画とコスト計画のまとめと演習：
第8回	プロジェクト計画書完成に関する講義：品質管理計画やリスク管理計画について学びこれらを最終的なプロジェクト計画書としてまとめるプロセスを講義する。（オンデマンド）
第9回	プロジェクト計画書完成に関するまとめと演習：
第10回	プロジェクトの進捗管理の講義：プロジェクトの進捗情報を把握するための実績情報の収集方法やその分析方法について講義する。（オンデマンド）
第11回	プロジェクトの進捗管理のまとめと演習：
第12回	プロジェクトの実行管理の講義：プロジェクトを予定通りに進めるための変更管理、問題管理、リスク管理などの方法について講義する。（オンデマンド）
第13回	プロジェクトの実行管理のまとめと演習：
第14回	プロジェクトの終結・調達終結の講義：情報システムの移行計画や移行作業の管理、調達の終結やそのほかのプロジェクト終結作業について講義する。（オンデマンド）
第15回	プロジェクトの終結・調達終結のまとめと演習：

開講日

2019/10/5～11/30

開始～終了時

土曜1限(9:00～10:30)+Web

合計学習時間(PDU申請可)

22.5時間 リーダシップ:4.5
テクニカル:13.5
ストラテジ:4.5

費用(受講者選考手数料除く)

28,800円

受講をお勧めする人

情報システム開発の典型的プロジェクトマネジメントを学びたい人。高度情報処理技術者試験(PM)の受験を考えている人。時間を有効活用したい人。(通学は土曜の9:00～10:30のみ)

講師

酒森 潔

アジャイル開発手法特論

正規講義名【アジャイル開発手法特論】

変化する要求に対応しながらビジネスに柔軟に沿うことで価値を生み出す、アジャイルソフトウェア開発手法が脚光を浴びています。この授業では、アジャイル開発のコアとなるアジャイルなチーム、価値の高いソフトウェアプロダクト、継続的に価値を提供する手法について学びます。

回数	内容
第1回 第2回	【アジャイルソフトウェア開発概要】 授業の全体像と進め方の説明を行う。アジャイル開発手法の概要とチーム開発について学習する。
第3回 第4回	【スクラムのコアコンセプトとロール】 アジャイルソフトウェア開発手法の1つであるスクラムについて学習する。スクラムのコアコンセプト及びロールについて学習する。
第5回 第6回	【計画づくりと見積りⅠ】 アジャイル開発で用いられる計画のための様一な技法や、スクラムのプランニングについて学習する。
第7回 第8回	【計画づくりと見積りⅡ】 アジャイル開発で用いられる計画のためのさまざまな技法や、スクラムのプランニングについて引き続き学習する。
第9回 第10回	【スプリントの実施】 アジャイル開発全般でいうところの反復(イテレーション)、スクラムでいうところのスプリントについて、どのように計画し実施するかについて学習する。
第11回 第12回	【技術的プラクティスやツール】 アジャイル開発を促進するための技術プラクティスや様一なツールについて学習する。
第13回 第14回	【スプリントレビューとレトロスペクティブ】 スクラムのイベントであるスプリント及びレトロスペクティブの仕組みと継続的な改善について学習する。
第15回	【アジャイルソフトウェア開発まとめ】 全体像を再度見直し、これまでに学習した事項について振り返り学習する。
試験	第1回から第15回までの授業の内容について試験を行う。

開講日

2019/10/5～11/23

開始～終了時

土曜2,3限(10:40～14:30)

合計学習時間(PDU申請可)

22.5時間 リーダシップ:12
テクニカル:10.5
ストラテジ:0

費用(受講者選考手数料除く)

28,800円

受講をお勧めする人

アジャイルソフトウェア開発について、その基本的な考え方や、開発の勧め方について学びたい人。業務でこれからアジャイル開発に取り組もうと考えている人にお勧めします。

講師

永瀬 美穂

受注プロジェクトの管理

グローバルなプロジェクトマネジメントの標準としてはPMBOK®が浸透してきましたが、日本の受注型プロジェクトには適応しないところが多くあります。たとえば、提案活動、収入の管理、利益管理などはPMBOK®のプロセスにはありません。本講義では受注型プロジェクトマネジメントについてPMBOK®との違いなどを含め解説します。

時限	内容
第1限	プロジェクトのオポチュニティマネジメントから受注まで（その1）： <ul style="list-style-type: none"> ベンダー企業のプロジェクト受注戦略とオポチュニティマネジメント
第2限	プロジェクトのオポチュニティマネジメントから受注まで（その2）： <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト提案活動 プロジェクト受注活動（課題1 ステークホルダーマネジメント）
第3限	プロジェクト計画（その1）： <ul style="list-style-type: none"> 提案書をもとにしたプロジェクト計画作成 プロジェクト計画の合意作業
第4限	プロジェクト計画（その2）： <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトコスト計画 プロジェクトリスクマネジメント（課題2 プロジェクト提案価格策定）
第5限	プロジェクトの実行（その1）： <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの進捗報告
第6限	プロジェクトの実行（その2）： <ul style="list-style-type: none"> 問題管理と変更管理 プロフィットマネジメント（課題3 顧客報告）
第7限	プロジェクトの終結（その1）： <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの終了基準の合意 プロジェクト終了処理
第8限	プロジェクトの終結（その2）： <ul style="list-style-type: none"> 顧客満足度調査 自社内の契約終結手続き 瑕疵責任と障害対応計画（課題4 リスクマネジメント）

開講日

2019/10/13(日),10/20(日)

開始～終了時

10:40～18:00 (各6時間)

合計学習時間(PDU申請可)

12時間 リーダシップ:2
テクニカル:8
ストラテジ:2

費用(受講者選考手数料除く)

15,360円

受講をお勧めする人

PMの基本を理解し、受注企業のPMとしてITプロジェクトを実行している人。
ユーザ企業の立場で発注プロジェクトを管理している人。
日本と欧米のPMの考え方を整理したい人。

講師

酒森 潔

プロジェクト・マネジャー実践力強化

本講義は、プロジェクト・マネジャーの持つべき実践力を理解し、実践力を向上するために必要な行動を理論と事例を通じて確認します。プロジェクト・マネジャーの持つべき6つの実践力について、チェックシートに基づいて、自己診断を行って、ご自身の強み、弱みを理解します。さらに6つの実践力の内容とその発揮について、理論と演習を通じて実践力強化に向けたご自身の今後の活動につなげていきます。

回数	内容
第1回	講義概要と実践力の概要：プロジェクト・マネジャーの6つの実践力とは、自己診断。
第2回	6つの実践力を理解する（その1）：6つの実践力を順に確認し、理解する。 ・コミュニケーション、・リーディング、・マネジング
第3回	6つの実践力を理解する（その2）：6つの実践力を順に確認し、理解する。 ・エフェクティブネス、・認知力、・自己規律
第4回	実践力を高めるために：6つの実践力を発揮できなかった及び発揮した事例に基づいて実践力の理解を深め、今後の実践に活用する。

開講日

2019/11/10 (日)

開始～終了時

10:40～18:00 (2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:6
テクニカル:0
ストラテジ:0

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクトマネジメントを実践する上で必要となる実践力について、その知識を体系的に修得し、実際のプロジェクトにおいて発揮したいと考えている人にお勧めします。

講師

濱 久人

プロジェクトを成功させるPMO活用法

PMBOK®では、PMO（Project Management Office）の責任は、プロジェクトマネジメントを支援することから直接マネジメントするまで広範囲にわたると定義しています。すなわち、組織のプロジェクトマネジメントに関して多様性を持つ組織と言えます。本講義では、PMOのタイプごとにケーススタディを通じて、組織やプロジェクトに役立つPMOの活用方法を実践的に学習します。

回数	内容
第1回	PMOの必要性 •PMO普及の背景について学習する。 •受注側、発注側企業の必要性の違いを学習する。
第2回	求められるPMOの役割と成果 •PMOの役割に応じた機能と成果について学習する。 •PMOの価値について考察する。
第3回	PMOの役割ごとのケーススタディー •参謀型PMO、管理実行型PMO、事務局型PMOそれぞれのケーススタディーを通じて、有効な活用方法の振り返りを行う。
第4回	PMOの活用における課題 •自分たちの組織でPMOを活用または導入する場合の課題を検討する

開講日

2019/10/27 (日)

開始～終了時

10:40～18:00 (2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:3
テクニカル:0
ストラテジ:3

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクト・マネージャーとして、PMOを活用されたい方、PMOメンバーとして、プロジェクト支援の価値をより向上させたい方。

講師

鈴木 由恵

中堅プロジェクト・マネジャーのパワーアップ

組織の中で中堅人材になると、社内でも中核、対お客様に対するプロジェクト・マネージャーとしても中核を担います。本講義では周囲からの期待値変化に対応して、プロジェクト・マネージャーと組織の中堅人材として、いかにセルフモチベーションを高めて、自己を成長させていけばよいのか、演習を通じて自己変革のためのアクションを導き出します。

回数	内容
第1回	中堅人材とは ・中堅人材の求められる役割と、プロジェクトマネージャーとしての自立について学習する。
第2回	中堅人材の自覚 ・自分の仕事の価値と周囲の期待を認識し、現在の自分との違いを演習を通じて把握する。
第3回	開発するべき能力とは ・中堅人材として、開発するべき能力について学習し、自身の課題を網羅的に把握する。
第4回	魅力ある中堅人材へ自己変革 ・課題を解決するために、自身の能力開発方法を検討する。 (ロールモデル、研修、OJT、コーチング、メンタリングなど)

開講日

2019/11/3 (日)

開始～終了時

10:40～18:00 (2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:3
テクニカル:0
ストラテジ:3

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクト・マネージャーとしてだけでなく、組織の中核としてのキャリアアップをしていきたい方
プロジェクト・リーダーからプロジェクトマネージャーにキャリアアップしたい方。

講師

鈴木 由恵

事例研究

本講義はプロジェクトの事例を通して、ゴールに到達できなかった原因を掘り下げていきます。そして、プロジェクト遂行における課題の洗い出し、成功に導くためには何が重要なのかをグループでのディスカッションにより、体得していくことを目指しています。日頃と違うメンバーの考え方や知見は大変参考になるとご評価いただいている。

時限	内容
第2限	ITプロジェクトの特徴、成功確率の理解 ・講義の目的と構成、および進め方について解説する。 ・事例研究の対象となるITプロジェクトの特徴について解説する。 ・ITプロジェクトの一般的な成功確率を知り、失敗の原因について検討する。 ・事例の読み解き方について学ぶ。 ・ITプロジェクトの成功／失敗要因とPMBOK®との関連を確認する。
第3限	ITプロジェクトの概要、プロジェクトマネジャーに求められるスキル ・一般的な事例を取り上げ、ITプロジェクトの概要を理解する。 ・プロジェクトマネジャーに求められるスキルについて理解する。 ・経験と教訓の関係について解説する。 ・教訓の残し方について検討する。
第4限	事例1の研究と発表 ・事例1についてグループ別に検討し、発表とディスカッションを行う。 ・お互いの発表から得られた気づきについて討議する。 ・グループ別に内容についての見直しを行う。 ・グループ演習の成果、および発表についての講評を行う。
第5限	事例2の研究と発表、およびまとめ ・事例2についてグループ別に検討し、発表とディスカッションを行う。 ・お互いの発表から得られた気づきについて討議する。 ・グループ別に内容についての見直しを行う。 ・グループ演習の成果、および発表についての講評を行う。 ・講義全体を通じたまとめを行う。 ・提出レポートについての解説を行う。提出時期は講義終了の1週間後を目標とする。

開講日

2019/11/24 (日)

開始～終了時

10:40～18:00 (2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:2
テクニカル:2
ストラテジ:2

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクトにおける問題の整理、原因追及、問題回避策の策定の方法を事例を通じて学ぼうと考える人。
事例研究で得られた知識を自ら関わるプロジェクトに役立てたい人。

講師

持田 敏之

プロジェクトマネジメントのツールと技法

正規講義名【プロジェクト管理特論3】

情報システム開発プロジェクトにおいて、ファンクションポイント、WBSとスケジュール、アーンド・バリュー・マネジメントなどのプロジェクト管理のツールや手法を理解し、実務で活用できるような実践的な演習をおこないます。

回数	内容
第1回	講義の目的とコンピテンシーの確認：本講義の目的、学習内容、課題、評価方法などを解説し、学生が講義選択の判断ができるようにする。また、授業内容に反映するために、受講者のPMコンピテンシーの確認アンケートを行う。
第2回	見積り手法：講義 見積もりの基本的な考え方と代表的な見積り手法であるファンクションポイント法について講義を行う。
第3回	見積り手法：演習 ファンクションポイント法を使った見積手法について、実務で使えるための演習を行う。
第4回	見積り手法：講義 I FPUG法を使った実際にファンクション数を数える方法について簡単な例を使用して解説する。（演習に備えて課題を考えてくる）
第5回	見積り手法：演習 実務レベルのシステムでI FPUG法によるファンクション計測演習をおこなう。
第6回	スケジュール作成：講義 WBSとスケジュール作成に関する基本の講義をおこなう。
第7回	スケジュール作成：演習 ガントチャートの作成方法や、実務でスケジュールの進捗を表現する技法について演習で学ぶ。
第8回	スケジュール作成：講義 MS—P r o j e c t の基礎の基本的な操作方法の講義：MS-Projectの使い方を講義する。またウッドデッキ作成プロジェクトの課題を提示する。（各自宿題としてスケジュールを作成していく）
第9回	スケジュール作成：演習 ウッドデッキ作成プロジェクト事例を使ってWBSやスケジュール作成の演習を行う。個人で作成してきたスケジュールをもとに、グループで議論する。
第10回	アーンド・バリュー・マネジメント：講義 E VMの基本的な考え方について講義する。
第11回	アーンド・バリュー・マネジメント：演習 簡単な演習を行いPMPや情報処理技術者試験レベルの基本的なアーンドバリュー計算ができることを目指す。
第12回	アーンド・バリュー・マネジメント：講義 WBSを利用して実務でEVMを活用する方法について具体的に解説する。
第13回	アーンド・バリュー・マネジメント：演習 E VMとWBSを組み合わせた演習をおこないE VMの理解を深めるとともに、実務においてWBSの作成と組み合わせたE VMを使えるようになることをめざす。
第14回	品質管理技法 プロジェクト管理における品質管理の考え方を講義し、品質管理の基本的な考え方を学ぶ。
第15回	品質管理技法 システム開発における品質管理の代表例として、システムテスト時の障害管理をとりあげ、管理方法や報告方法の例を講義するとともに、事例に基づく品質分析と報告書作成の演習をおこなう。

開講日

2019/12/4～2020/1/31

開始～終了時

金曜7限 (20:10～21:40)

水曜7限 (20:10～21:40)

合計学習時間(PDU申請可)

22.5時間 リーダシップ:0

テクニカル:24

ストラテジ:0

費用(受講者選考手数料除く)

28,800円

受講をお勧めする人

FP、WBS、スケジューリング技法、EVM、品質管理技法について基本的な知識を持ち、さらに高度な使い方を身に付けたい人。

本学の正規講義を科目単位で受講してみたい人。

講師

酒森 潔

パーソナルスキル2 コミュニケーション・ネゴシエーション

コミュニケーション、リーダーシップ、チーム・ビルディング、コンフリクト・マネジメント、プレゼンテーションなどのスキルはプロジェクトを成功に導くためにプロジェクト・マネジャーが身に着けなければいけない人間術です。本コースでは、現場で実践できるヒューマン・スキルの極意を講義と体験学習を通して学びます。

時限	内容
第1限	コミュニケーション・マネジメント <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト・マネジャーの仕事の大部分を占め、プロジェクトの成否を左右する、コミュニケーション・スキルについて学ぶ。 効果的なコミュニケーションは何かを、ケーススタディーを用いて実践的に会得する。 PMBOK®の知識体系である、コミュニケーション・マネジメントについて学ぶ。 ステークホルダー・マネジメントについて学ぶ。
第2限	コンフリクト・マネジメント <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトで日常的に起こるコンフリクトへの対応方法、ネゴシエーションについて学ぶ。 ケーススタディーとロールプレイで、交渉術を実践的に学ぶ。
第3限	リーダーシップとチームビルディング <ul style="list-style-type: none"> 多様性チームを引っ張っていくリーダーシップ・スタイル、チーム・ビルディングの仕組みについて学ぶ。 ケース・スタディーで、チーム・ビルディングの課題と対応策を考察する。 聴く力を身に着ける。
第4限	プレゼンテーション：ストレスマネジメント <ul style="list-style-type: none"> 効果的なプレゼンテーションとはなにか、を学ぶ。 実際にスピーチを行い、イントラクティヴに学習する。 プロジェクト・マネジャー自身とメンバーのストレスにどう対処するかを体験的に学ぶ

開講日

2019/12/1 (日)

開始～終了時

10:40～18:00 (2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダーシップ:6
 テクニカル:0
 ストラテジ:0

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクトマネジメントに必要なヒューマン・スキルを体系的に修得したいと考えている人。特に、コミュニケーション、コンフリクトマネジメント、リーダーシップ、ネゴシエーションを学びたい人。

講師

永谷 裕子

プロジェクト・マネジャーのキャリアデザイン

「キャリアデザイン」とは、自分自身の職業人生を自らの手で主体的に構想・設計することをいいます。本科目では、プロジェクト・マネジャーとしての仕事を通じて、実現したい姿やそれに近づくプロセスを明確にしていきます。一般的なキャリア関連の理論を解説するとともに、演習を通じて自己理解を深め、自分の経験やスキル、性格、ライフスタイルなどを考慮した上で、キャリアデザインを行います。

時限	内容
第1限	「キャリア」とは? 「キャリアデザイン」とは? ・「キャリア」「キャリアデザイン」について学習する。 ・演習を通じて、自分の能力についての自己認識を行う。 ・演習を通じて、自分のなりたい姿の自己認識を行う。
第2限	キャリア関連の基礎理論 ・ホランド、スーパー、サビカス、シャイン、クランボルツなどのキャリア関連の基礎理論を学習する。
第3限	プロジェクト・マネジャーに必要な行動特性 ・プロジェクト・マネジャーに必要な行動特性について学ぶ。 ・自分自身を評価し、課題を明確にするチーム・ビルディングの課題と対応策を考察する。 ・聴く力を身に着ける。
第4限	プロジェクト・マネジャーの成長プロセス ・実際のプロジェクト・マネジャーの成長プロセスについて学ぶ。 ・成長していくための課題を検討する。

開講日

2019/12/8 (日)

開始～終了時

10:40～18:00 (2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:6
テクニカル:0
ストラテジ:0

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクト・マネジャーとして、キャリアアップしていくたい方、プロジェクト・マネジャーの育成を担当している方。

講師

三好 きよみ

パーソナルスキル1 ファシリテーション、コーチング＆メンタリング

本科目は、プロジェクト・マネジャーに必要なパーソナル・スキル（ファシリテーション、コーチングとメンタリング）について基本のプロセス、必要なスキルを学びます。パーソナルスキルは知識を理解しただけでは、なかなか実践が難しいので、講座の中でも演習やケース・スタディーを多数実施して、実践的に身につけていきます。

時限	内容
第1限	講義概要とファシリテーションの概要：ファシリテーションの基本プロセスとスキル、キックオフや進捗会議などの場面におけるファシリテーションの実践など。
第2限	コーチングとメンタリングの概要：コーチング＆メンタリングの基本プロセスとスキルとプロジェクトメンバーの動機付け。
第3限	コーチング＆メンタリングとファシリテーションの実践演習：プロジェクト事例に基づいて、立ち上げ、計画、実行、監視コントロール、終結の各フェーズで、パーソナルスキルを活用する場面を設定し、実践演習を行う。
第4限	同上

開講日

2019/12/15 (日)

開始～終了時

10:40～18:00 (2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:6
テクニカル:0
ストラテジ:0

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクト・マネジャーに求められるパーソナルスキルの中で、重要なスキルであるコーチングとメンタリングについて、基本的なプロセスを理解し実践で活用できるようにないたい人。

講師

濱 久人

プログラムマネジメント実践演習

本科目は、プログラムマネジメント活動の基本的なプロセスであるミッションプロファイリングとプログラムデザインについて体系的に学び、これらのプロセスに活用する戦略を理解します。さらにケースによる検討を通じて、プログラムマネジメントに必要な基本の考え方と手法の理解を深めます。

回数	内容
第1回	講義概要とミッションプロファイリング：プログラムマネジメントの全体像、プログラムマネジメントプロセス、プログラムミッション。
第2回	ミッションプロファイリング事例と演習：事例に基づいて、ミッションプロファイリングを確認し、理解する。ケースを活用してミッションプロファイリングを行う。
第3回	シナリオ展開：ミッションに基づき、戦略マップを用いて、プログラム（事業）シナリオを描く。
第4回	プログラムデザイン：戦略を実現するためのライフサイクルとプログラム群をデザインする。

開講日

2020/1/12 (日)

開始～終了時

10:40～18:00 (2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:0
テクニカル:0
ストラテジ:6

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プログラムマネジメントを実践する上で必要となる、ミッションプロファイリングとプログラムデザインについて、体系的知識を修得したいと考えている人にお勧めします。

講師

濱 久人

情報処理技術者PM試験対策コース

情報システム構築におけるプロジェクト管理の進め方を、情報処理推進機構が発行している「高度情報化人材育成標準カリキュラム プロジェクトマネージャ」を基準に学習します。この知識をもとに情報処理技術者試験の午後1および午後2の試験での質問の考え方や解答の方法を指導し、試験に合格することを目的とします。

日	内容
第1日	プロジェクトの立上の講義：日本における情報システム開発プロジェクトの特徴や、プロジェクトが生まれる仕組みについて解説する。
	スコープ定義とスケジュール作成の講義：プロジェクトスコープの定義を行いWBSとプロジェクトスケジュール作成するまでを解説する。
	要員計画とコスト計画の講義：要員の投入計画を調整しながらスケジュールを確定しコスト計画を作成するプロセスを講義する。
第2日	論述式試験の内容と、解答のポイントを指導する。簡単な論文の書き方の演習を行う。
	プロジェクト計画書完成に関する講義：品質管理計画やリスク管理計画について学びこれらをプロジェクト計画の中に加味し最終的なプロジェクト計画書としてまとめるプロセスを講義する。
	プロジェクトの進捗管理の講義：プロジェクトの進捗情報を把握するための実績情報の収集方法やその分析方法について講義する。
	プロジェクトの実行管理の講義：プロジェクトを予定通りに進めるための変更管理、問題管理、リスク管理などの方法について講義する。
	情報処理技術者試験午後1：記述式試験の問題の解答方法を講義し、過去問題を使った演習を行う。

開講日

2020/2/2(日),2/9 (日)

開始～終了時

10:40～18:00 (各6時間)

合計学習時間(PDU申請可)

12時間 リーダシップ:2
テクニカル:8
ストラテジ:2

費用(受講者選考手数料除く)

15,360円

受講をお勧めする人

情報処理技術に関する基本的な知識があり、高度情報技術者PM試験合格を目指す人。教科書やグローバル標準のPMの知識を、どのようにプロジェクトに適応していくか学びたい人。

講師

酒森 潔

IT経営プロジェクト

企業活動にとって、ITはなくてはならない基盤です。企業経営が戦略的に進められると同様にIT構築も戦略的に進めなければなりません。この講義では、座学、演習と発表を通じて、全体最適化と戦略的思考法を身につけることを目指します。

日	内容
第1日	座学「はじめに」、「経営改革の必要性」 講義（座学、演習）の進め方、ショートレポートの提出方法、成績評価のしかたを説明する。企業とは何か、ミッションとビジョン、経営改革の必要性について。
	演習「SWOT分析,あるべき姿の設定とCSFの抽出」 経営改革メンバーとして、対象企業の強みと弱み、外部環境から認識される脅威と機会を分析する。
	演習と発表「経営戦略企画書の承認」 経営改革メンバーとして、現状分析を踏まえ、対象企業のあるべき姿を事業ドメインとして表現し、更にそれを実現するためのCSF（主要成功要因）を抽出し経営改革目標値を決定する。
	座学「IT戦略策定」 企業にとって、あるべき姿を実現するためには、ITの必須の要件である。経営戦略を継承し他の戦略と連携を持ったIT戦略の策定方法を説明する。
第2日	演習「IT成熟度評価と業務プロセスの改革」 対象企業のITガバナンスを評価し、抽出したIT課題の実現のための業務プロセス改革（To-Be業務フロー、DMM-DFD、UMLなど）を図式化する。
	演習と発表「IT戦略企画書の承認」 IT戦略企画書を作成し、経営陣に対する発表を行い、承認を得るためのロールプレイを行う。
	座学と演習「IT資源調達」 IT戦略実現に向けた最適なIT調達を実施するための方法、CMMI等について説明する。
	演習と発表「RFP作成と提案評価基準設定」 発注企業としてRFP作成と提案評価基準設定を行い、発注企業として評価基準に基づく評価を行う。
第3日	座学と演習「ITサービス導入」 経営改革プロジェクトおよびITシステム開発プロジェクトを対象に、プロジェクトマネジメントの意義とプロジェクトマネジャーに必要な要件を説明する。
	演習と発表「ITサービス導入における諸問題と対応」 引き続き、ITサービス導入時に発生する諸問題について演習を行う。「プロジェクトに発生する諸問題」について発表し質疑応答する。
	座学「ITサービス活用とIT経営」 経営改革プロジェクトおよびITサービス活用を対象に、活用における諸問題について演習を行う。
	学生発表「IT経営のまとめ」 本科目を履修して獲得できた知識・スキル・気づきについて発表する。

開講日

2020/2/23,3/1,3/8 (日)

開始～終了時

10:40～18:00

合計学習時間(PDU申請可)

18時間 リーダシップ:4
テクニカル:6
ストラテジ:8

費用(受講者選考手数料除く)

23,040円

受講をお勧めする人

企業経営、戦略立案、チーム活動、アイデア発想法・収束法(BS、KJ法、SWOT分析)、コミュニケーション、プレゼンテーションなどに興味を持ち学びたいと思っている人。

講師

山戸 昭三

2019年度 年間カレンダー

プロジェクトマネジメント・プロフェッショナルスクール 時間割(全体図)

月	月曜日 の日付	曜日と時限						
		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
8月	5日						PBL発表会	
	12日					PM入門 10:18	PM入門 10:18	
	19日					PMP対策 10:18	設備工事	
	26日					PMP対策 10:18	設備工事	
9月	2日					9/7第2期入試	PMP対策 10:18	
	9日						アジャイル	
	16日					9/21学位授与式	リスク マネジメント	
	23日						PMBOK 徹底読み解き	PMBOK 徹底読み解き
10月	30日					土曜9時	11	予備
	7日					3 3		
	14日					5 5	受注PM	
	21日					7 7	受注PM	
	28日					9 9	PMO	
11月	4日					1 1	中堅PM	
	11日					3 3	実践力強化	
	18日					5 5		
	25日					7 7		
12月	2日					9 9	1/17第3期入試	
	9日					11 11	事例研究	
	16日					13 13	補講	
	23日					15 15	バーナブル 2	
	30日					17 17	PMキャリア デザイン ノハーネンタ	
1月	6日					19 19	設備点検	
	13日					21 21		
	20日					23 23		
	27日					25 25		
2月	3日					27 27		
	10日					29 29	お正月	
	17日					31 31	「プロジェクトマネジメントのツールと技法」の金曜講義は教室受講も、好きな場所・時間でのオンデマンド受講も可能。水曜は教室受講が必要です。	
	24日					1/19第4期入試		
3月	2日					1/21第5期入試	PBL発表会	
						1/22第5期入試	IT経営	
						1/23第5期入試	IT経営	
						1/24第5期入試	IT経営	
						1/25第5期入試	IT経営	
						1/26第5期入試	IT経営	
						1/27第5期入試	IT経営	
						1/28第5期入試	IT経営	
						1/29第5期入試	IT経営	
						1/30第5期入試	IT経営	
						1/31第5期入試	IT経営	
						2/1第6期入試	IT経営	
						2/2第6期入試	IT経営	
						2/3第6期入試	IT経営	
						2/4第6期入試	IT経営	
						2/5第6期入試	IT経営	
						2/6第6期入試	IT経営	
						2/7第6期入試	IT経営	
						2/8第6期入試	IT経営	
						2/9第6期入試	IT経営	
						2/10第6期入試	IT経営	
						2/11第6期入試	IT経営	
						2/12第6期入試	IT経営	
						2/13第6期入試	IT経営	
						2/14第6期入試	IT経営	
						2/15第6期入試	IT経営	
						2/16第6期入試	IT経営	
						2/17第6期入試	IT経営	
						2/18第6期入試	IT経営	
						2/19第6期入試	IT経営	
						2/20第6期入試	IT経営	
						2/21第6期入試	IT経営	
						2/22第6期入試	IT経営	
						2/23第6期入試	IT経営	
						2/24第6期入試	IT経営	
						2/25第6期入試	IT経営	
						2/26第6期入試	IT経営	
						2/27第6期入試	IT経営	
						2/28第6期入試	IT経営	
						2/29第6期入試	IT経営	
						3/1第6期入試	IT経営	
						3/2第6期入試	IT経営	

(1限:9:00~、2限:10:40~、3限:13:00~、4限:14:45~、5限:16:30~、6限:18:30~、7限:20:10~)

履修条件など

- * 1 すべての科目は選択科目である
- * 2 ユニット単位で募集を行うが受講は1科目から申し込み可
- * 3 各ユニットで修了(合格)した科目ごとに修了の証明書発行(PDU申請可)
- * 4 履修証明申請のための科目ごとの履修証明書は5年間有効

ユニット1(基礎編)		日程	コマ数	時間数	リーダシップ	テクニカル	ストラテジ
三好	プロジェクトマネジメント入門	8/17.18	9.33	14	3	8	3
酒森	PMP受験対策講座	8/24.8/31.9/8	14	21	6	9	6
竹腰	イノベーションのためのアジャイルプロジェクト	9/15	4	6	1.5	4.0	0.5
酒森	リアルタイムPMシミュレータ	9/16	4	6	2	2	2
竹政	プロジェクト・リスク・マネジメント	9/22	4	6	0	6	0
石井/澤	PMBOK第6版徹底読み解き	9/28.9/29	9.3	14	2	10	2
		ユニット1合計	44.7	67.0	14.5	39.0	13.5

ユニット2(実践編)		日程	コマ数	時間数	リーダシップ	テクニカル	ストラテジ
酒森	システム開発プロジェクト管理(プロジェクト型)	10/5~11/30	15	22.5	4.5	13.5	4.5
永瀬	アジャイル開発手法特論	10/5~11/23	15	22.5	12	10.5	0
酒森	受注プロジェクトの管理	10/13.10/20	8	12	2	8	2
鈴木	プロジェクトを成功させるPMO活用法	10/27	4	6	3	0	3
鈴木	中堅プロジェクト・マネジャーのパワーアップ	11/3	4	6	3	0	3
濱	プロジェクトマネジャー実践力強化	11/10	4	6	6	0	0
持田	事例研究	11/24	4	6	2	2	2
		ユニット2合計	54.0	81.0	32.5	34.0	14.5

ユニット3(上級編)		日程	コマ数	時間数	リーダシップ	テクニカル	ストラテジ
酒森	プロジェクトマネジメントのツールと技法(PM)	12/4~2/1	15	22.5	0	22.5	0
永谷	パーソナルスキル2/コミュニケーション・ネット	12/1	4	6	6	0	0
三好	プロジェクト・マネジャーのキャリアデザイン	12/8	4	6	6	0	0
濱	パーソナルスキル1/コーチング&メンタリン	12/15	4	6	6	0	0
濱	プログラムマネジメント実践演習	1/12	4	6	0	0	6
酒森	情報処理技術者PM試験対策コース	2/2.2/9	8	12	2	8	2
山戸	IT経営プロジェクト	2/23.3/1.3/8	12	18	4	6	8
		ユニット3合計	51	76.5	24	36.5	16

コマ数	時間数	リーダシップ	テクニカル	ストラテジ
総合計	99.7	149.5	40.5	77.5 31.5

* 5 修了した科目的総時間が120時間以上で履修証明書を発行する

* 6 「正規講義」の記述がある講義は産技大の単位バンク制の対象講義であり、通常講義を受講する

* 7 「システム開発プロジェクト管理」の偶数回の講義は、各自都合のよい時間にオンデマンドでビデオ受講する

* 8 「プロジェクトマネジメントのツールと技法」の金曜の講義は、大学で受講してもビデオで受講してもよい

申込期間・問い合わせ先

	ユニット1	ユニット2	ユニット3
願書受付期間	令和元年7月4日（木）から 令和元年8月1日（木）まで ※事前審査は7月17日（水）まで	令和元年8月7日（水）から 令和元年9月13日（金）まで ※事前審査は8月27日（火）まで	令和元年10月14日（月）から 令和元年11月14日（木）まで ※事前審査は10月29日（火）まで
開講期間	令和元年8月17日（土）から 令和元年9月29日（日）まで ※平日夜間、土曜及び日曜に開講	令和元年10月5日（土）から 令和元年11月30日（土）まで ※平日夜間、土曜及び日曜に開講	令和元年12月1日（日）から 令和2年3月8日（日）まで ※平日夜間、土曜及び日曜に開講
受講料	7,680円～85,760円 ※選択科目数により異なります。	7,680円～103,680円 ※選択科目数により異なります。	7,680円～97,920円 ※選択科目数により異なります。
定員	各20名 ※ 申込者僅少のユニットは開講しない場合があります。		
出願資格	日本の大学を卒業した者等 ※ 海外の大学を卒業された方や十分な実務経験を持つ方は出願資格の事前審査により出願が認められます。 詳しくは、募集要項をご覧ください。		
選考	書類審査により行います。 受講者選考手数料（9,800円）を添えて出願してください。		
募集要項及び 願書請求先	下記にご連絡ください。無料で送付いたします。 〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40 産業技術大学院大学 管理課教務学生入試係 電話：03-3472-7834 E-mail : info@aiit.ac.jp URL : https://aiit.ac.jp/		